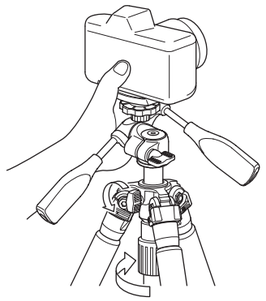
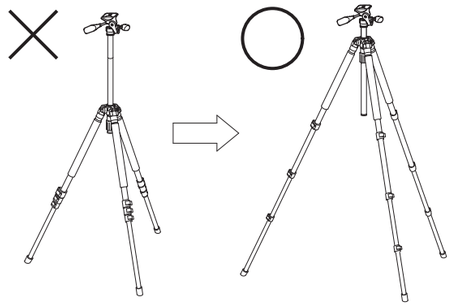
エレベーターの使い方

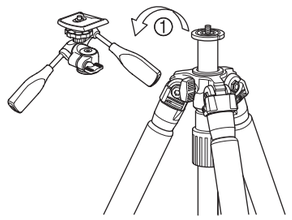


雲台に手をそえてエレベーターストッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめます。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとナット、ストッパーをロックしてください。

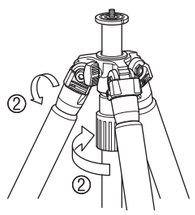


ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。
また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

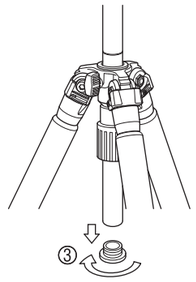
エレベーターの上下差しかえ



①エレベーターの上下差しかえまたは交換のときは、必ず雲台をはずしてください。

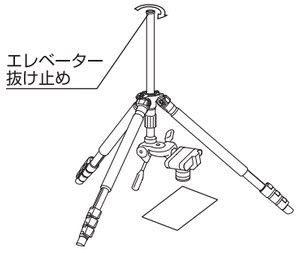


②エレベーターストッパーとエレベーターロックナットをゆるめます。



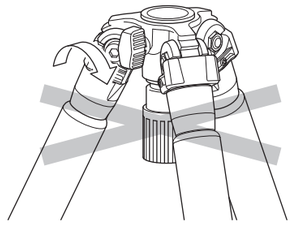
③エレベーター抜け止めを外しエレベーターをぬきとります。

⚠ 注意



入れかえが終わったらストッパーを締めつけ、落下防止のためエレベーター抜け止めを必ず取り付けてください。

⃠ 禁止



エレベーターを抜きとったままエレベーターストッパーを操作しないでください。
内部の部品が破損します。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2012 SLIK CORPORATION

アフターサービス

製品の修理に関してはお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

スリック株式会社
本社/〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー
〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19　Tel. 03-5982-1060

SLIK®

プロ 200 DX-LE
プロ 250 DX-LE

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

⃠ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

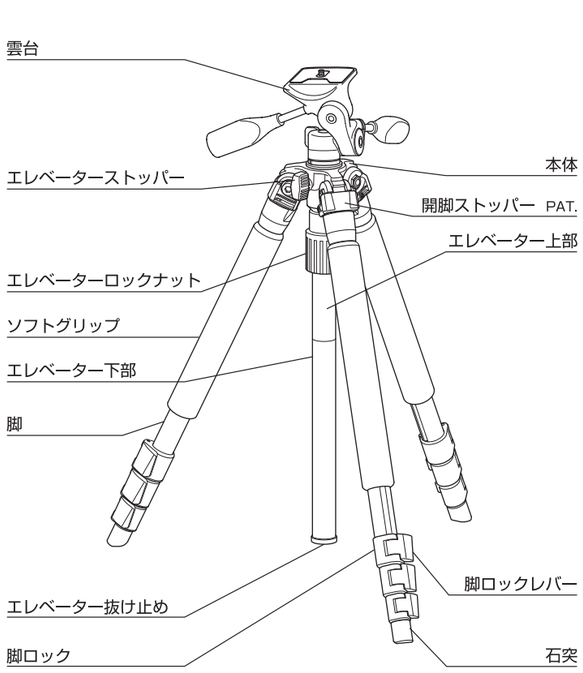
P415

仕様

プロ 200 DX-LE	
縮長	596 mm
全高	1,592 mm
EVスライド	350 mm
質量	1,690 g
プロ 250 DX-LE	
縮長	490 mm
全高	1,440 mm
EVスライド	290 mm
質量	1,610 g

三脚ケース付

各部名称

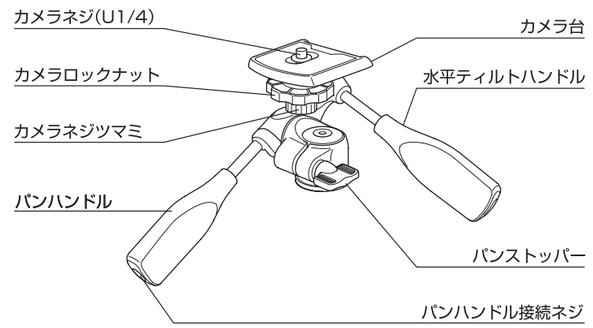


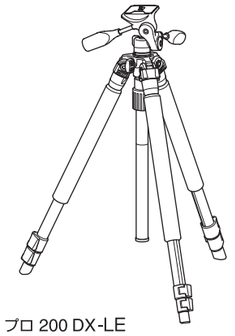
プロ 250 DX-LE

⚠ 注意

ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだらお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
（無料修理保証の対象外です。）
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

雲台





プロ 200 DX-LE

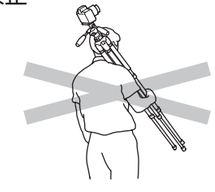
搭載する機材

⃠ 禁止

この製品は、3kg位までの機材を載せるように作られています。これ以上の機材は載せないでください。
また、3kg以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

持ち運びのとき

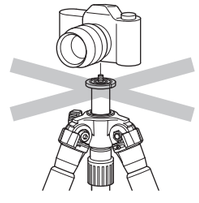
⃠ 禁止



三脚にカメラを取り付けたまま移動すると、思わぬ事故を起すことがあります。
カメラは三脚から外して運搬してください。

雲台取り付けネジ

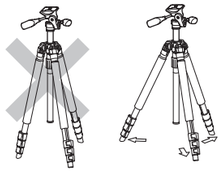
⃠ 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
雲台などを介してお取り付けください。

機材の取り付けとセットアップ

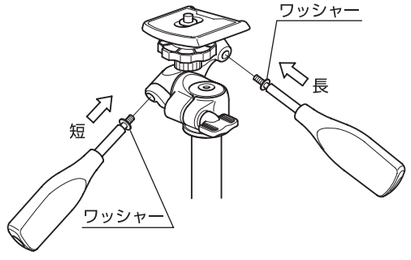
⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。
脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

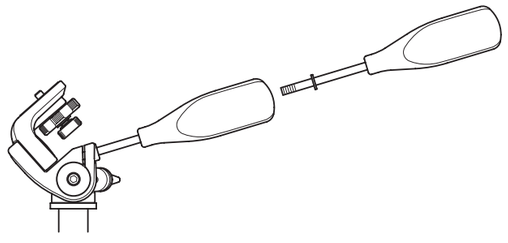
パンハンドルの取り付け

⚠注意



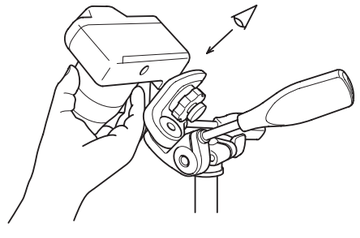
雲台に2本のハンドルを取り付けます。パンハンドル(短)を左、水平ティルトハンドル(長)を右に取り付けてください。逆に取り付けないでください。
正常に締め付けることができません。また、ハンドルのシャフトにワッシャーがついていることを確認してください。

収納

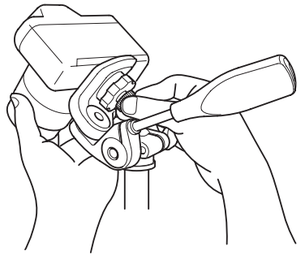


水平ティルトハンドルをはずしパンハンドルにねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

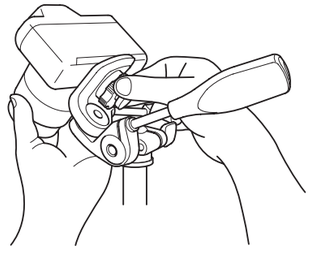
カメラの取り付け



カメラによっては、ハンドルを操作してカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

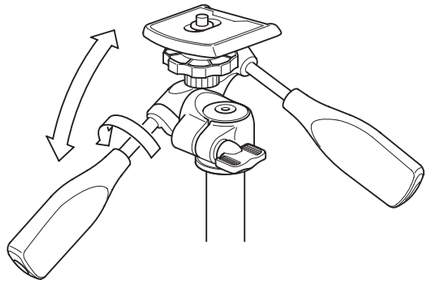


カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミを、ねじ込みます。

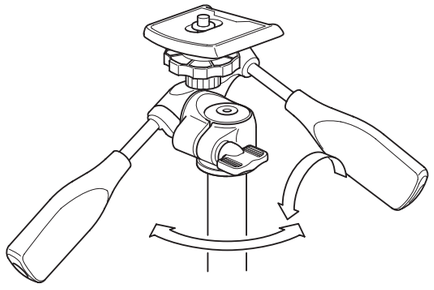


次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

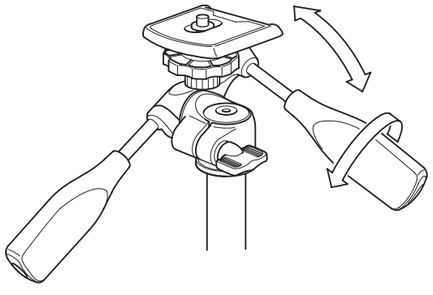
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

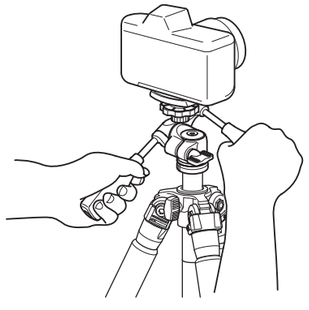


パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。



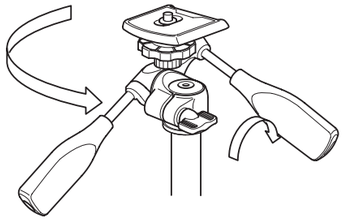
水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

⚠注意



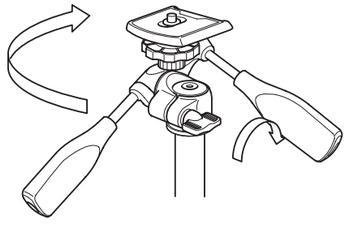
パンハンドル／水平ティルトハンドルをゆるめたときは、固定するまでしっかり握って操作してください。

雲台の取り外し



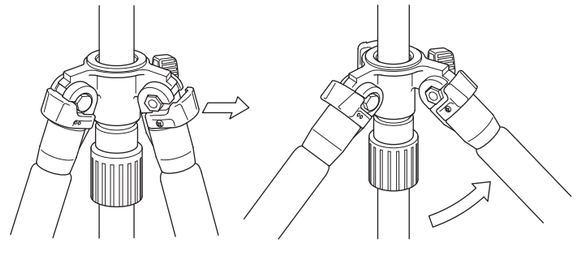
雲台を取り外すときは、始めに、エレベーターをエレベーターストッパーでしっかり固定します。
次に、雲台のパンストッパーをしっかり締め込み、パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台をまわします。
これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



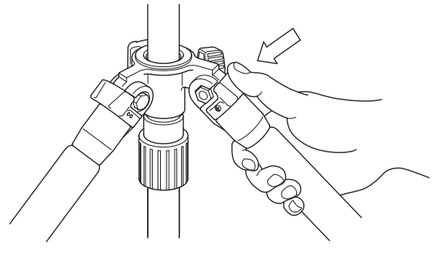
雲台(アクセサリー)と三脚のネジを合わせます。雲台を時計まわりに止まるまでまわします。パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにねじこみます。パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

開脚角を変える



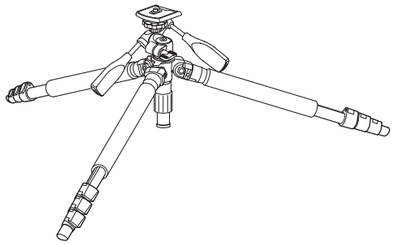
標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角（ミドル、ローポジション）がえらべます。

⚠注意

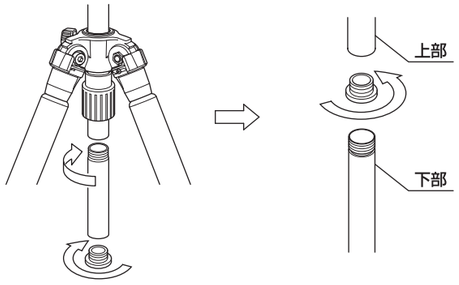


使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

ローポジション

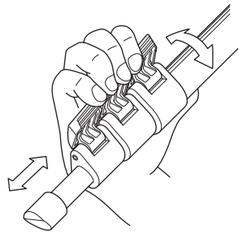


エレベーター下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。



エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印方向にねじり、取り外します。
取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

脚の伸縮



脚ロックレバーを開くと脚は伸縮できます。希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。太いパイプを優先してご使用になると、グラつきが少なくなります。

脚を閉じた状態で、石突を下に向けて操作すると、扱いがらくです。